



Russell
Hobbs

At the heart of your home

ラッセルホブス ウォーターフィルターケトル 18554JP



取扱説明書 保証書

本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついていますので、販売店とお買い上げ日のご記入を必ずお受けください。
- 必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくご使用ください。

はじめに

この度はラッセルホブス製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ラッセルホブス製品は、ヨーロッパを始め、世界各国で高い評価をいただいているイギリスの家庭用電気製品ブランドです。本製品は、ラッセルホブスから日本向けに特別に開発されたものです。ご使用になられる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、商品使用にお役立てください。

この取扱説明書は安全なところに保管しておいてください。この製品を他人に譲渡する時は、取扱説明書と一緒に譲渡してください。また、包装は使用する前に取り払ってください。ただし、製品が正常に作動するのを確認するまで、梱包・包装類は捨てないでください。

目次

はじめに	3
安全上のご注意	4~6
各部の名称とはたらき	7
はじめてお使いになるその前に	
BRITA Maxtraカートリッジをセットする	8
BRITAメモを設定する	9
ご使用方法について	
ご使用上の注意	10~11
ご使用方法	12~13
お手入れの仕方	
ケトルの分解	14
ケトルのクエン酸洗浄	14
BRITA MaxtraカートリッジとBRITAメモの交換と廃棄	
BRITA Maxtraカートリッジの交換と廃棄 ..	15
BRITAメモの交換と廃棄	15
BRITAカスタマーセンターのご案内	15
よくあるご質問	16~17
仕様	18
アフターサービス	
保証について	19
部品のご購入について	19
修理を依頼される場合	19

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、人体への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになれる方がいつも見られる場所に必ず保管してください。

表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる内容を以下の2つに区分し、説明しています。



警 告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症※¹等を負う可能性が想定される内容



注 意

取り扱いを誤った場合、使用者が障害※²を負う可能性および物的損害※³のみの発生が想定される内容

- ※¹ 重症とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ※² 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- ※³ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



⓪の記号はしてはいけない「禁止」を示します。



一般的な禁止



水濡れ禁止



接触禁止



濡れ手禁止



分解禁止



●の記号は、必ずしていただく「強制」を示します。



必ず行う



差し込みプラグを抜く

警 告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。感電、けが、やけどをする恐れがあります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、感電の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。火災の原因になります。

コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になります。

電源台と本体の接続部に、金属製のものを差し込まないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

ケトル本体を転倒させないでください。やけどや感電の恐れがあります。

付属のパワーベース以外は使わないでください。また、パワーベースは他の機器に使用しないでください。発火、故障などの原因になります。



ケトル本体やパワーベースを水につけたり、風呂場や流し台など、水がかかる恐れのある場所の近くでは使わないでください。感電および本体故障の危険性があります。

野外や水気、湿気の多い場所（部屋）で使用しないでください。また濡れている場所に本体を置かないでください。ショートや感電の恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。



改造はしないでください。修理技術者以外は、分解したり修理しないでください。火災、感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社にご相談ください。



15Aのコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱し発火する恐れがあります。

電源プラグは、刃および刃の取付け面にほりりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因になります。



電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして、発火することがあります。

お手入れの際や使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、感電、火災の原因になります。

安全上のご注意



注 意

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容



注ぎ口を、家具や壁、カーテンなどに向けて使用しないでください。加熱した部分に触れて、やけどの原因になります。

注ぎ口から水を入れないでください。水を入れる際は、必ずふたを開けて入れてください。故障の原因になります。

水以外のもの（氷、牛乳、お茶、コーヒーなど）は入れないでください。故障の原因になります。

満水目印（MAXマーク）位置以上に水を入れないでください。湯がふきこぼれ、やけどする恐れがあります。

連続して使用する場合は、ケトルを十分に冷ましてから使用してください。間を開けずに連続して使用し続けると、故障の原因になります。



使用中および使用直後に、本体、ふた、および注ぎ口には手を触れないでください。やけどする恐れがあります。

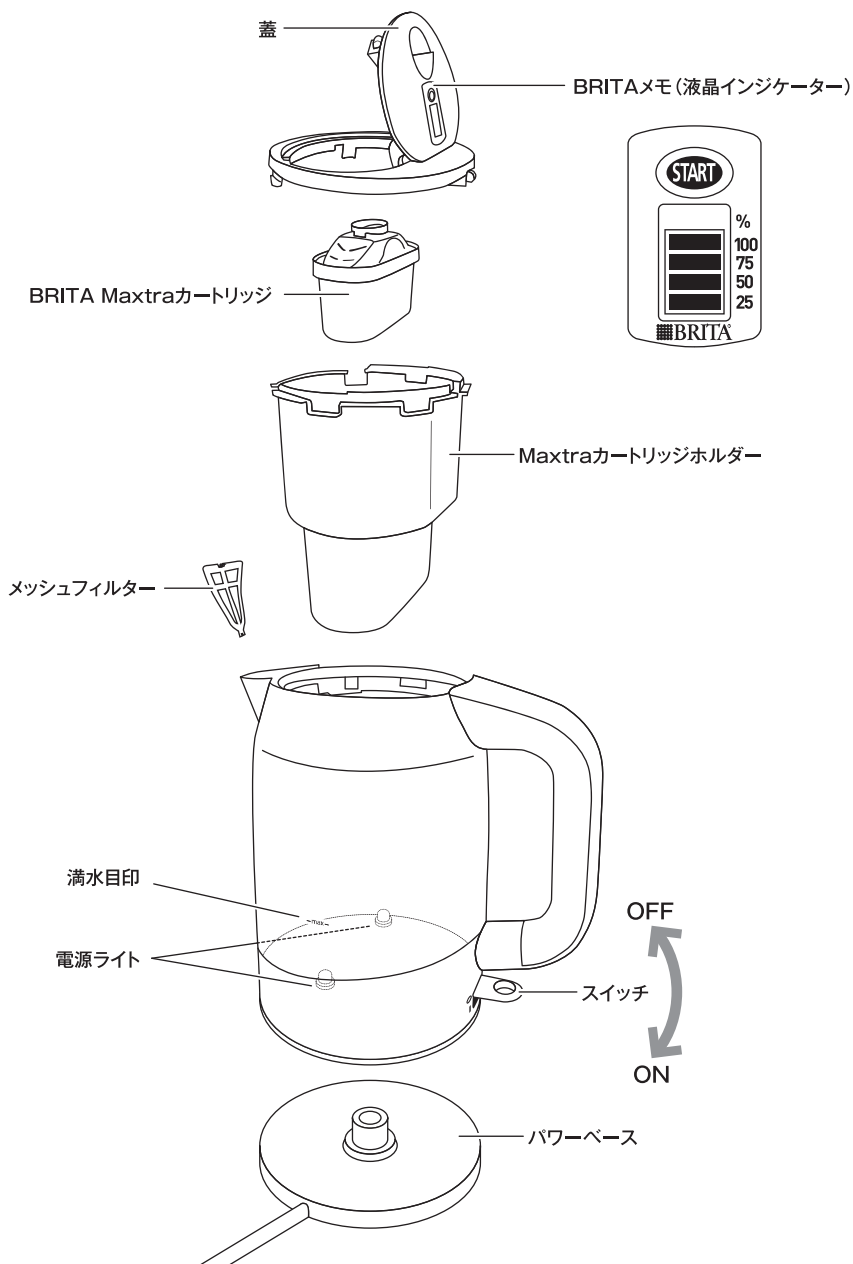


ケトルに入れる水の量は500ml以上、1L以下の範囲でご使用ください。規定以外の水量で使用すると故障の原因になります。

空焚き防止機能が作動してスイッチが切れた時は、本体を十分冷ましてから使用してください。本体が加熱しているため、やけどする恐れがあります。

使用時はふたがきちんと閉まっていることを確認してください。オートオフ機能が働かない場合があります。

各部の名称とはたらき



はじめてお使いになるその前に

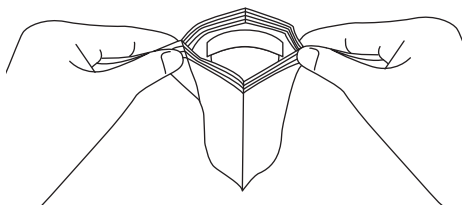
BRITA Maxtraカートリッジをセットする

BRITA Maxtraカートリッジに入っている黒い活性炭の微粒子は天然素材であるため濾過フィルター密度が均一ではありません。そのため活性炭同士が擦れ合うと、活性炭の微粒子が、黒い粒子となって包装フィルムやMaxtraカートリッジに付着したり、濾過水に入り込むことがあります。これらの微粒子は食品級の品質の為、健康に悪影響を及ぼすことはなく、摂取しても人体に害を与えることはありません。

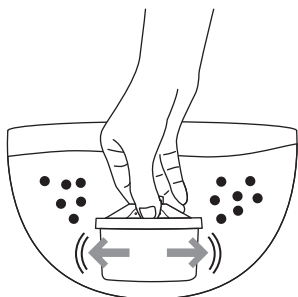
1 BRITA Maxtraカートリッジの包装フィルムを取り外します。

※新しいBRITA Maxtraカートリッジは、蒸気処理しているため湿っている場合があります。

※包装フィルムやMaxtraカートリッジに、黒い活性炭の微粒子がついている場合があります。これは活性炭は食品扱いの品質で、体内に入った場合も無害です。



2 BRITA Maxtraカートリッジを水に浸して静かに振って、気泡を取り除きます。



3 MaxtraカートリッジホルダーにBRITA Maxtraカートリッジをしっかり押し込みます。逆さまにしてもMaxtraカートリッジが外れないようにしてください。



蓋をしている状態でBRITA Maxtraカートリッジが装着しにくい場合は、蓋のフレームを取り外して装着してください。

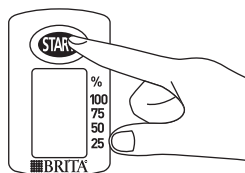


4 Maxtraカートリッジホルダーに満水(500ml)まで水道水を注ぎ、濾過させます。濾過された水道水は捨ててください。これを2回繰り返してください。BRITA Maxtraカートリッジは3回目の濾過水からご使用いただけます。3回目の濾過水に活性炭の微粒子が混ざっている場合は、更に濾過を繰り返してください。

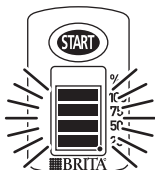
BRITAメモを設定する

BRITAメモはBRITA Maxtraカートリッジの使用可能残量(日数)をカウントダウンしていく機能です。BRITA Maxtraカートリッジが使用可能な状態になったらBRITAメモを設定してください。

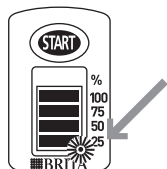
- 1 BRITAメモの保護フィルムを外して、スタートボタンを押します。



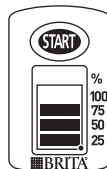
- 2 押し続けるとバーが1本ずつ現れ、4本全て現れたら点滅します。数回点滅したら指を離してください。



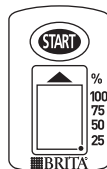
- 3 液晶インジケーターの右下で点滅する小さな点を確認してください。点滅していればBRITAメモは正しく作動しています。



BRITAメモはMaxtraカートリッジの使用可能残量(日数)をカウントダウンしていきます。2週間に1本ずつバーが減っていきます。



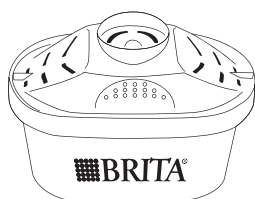
2ヶ月経つと画面上に矢印が現れディスプレイ全体が点滅しますので、Maxtraカートリッジを交換してください。



ご使用方法について

ご使用上の注意

BRITA Maxtraカートリッジについて
本ケトルは、BRITA Maxtraカートリッジ専用設計されています。BRITA Maxtraカートリッジ以外のフィルターカートリッジは使用しないでください。

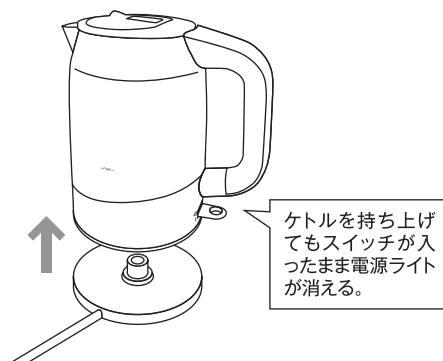


交換用カートリッジについて

本ケトルに使用しているカートリッジは、BRITAポット型浄水器に使われているMaxtraカートリッジ(日本仕様)です。交換する際は日本仕様のブリタMaxtraカートリッジをお求めください。

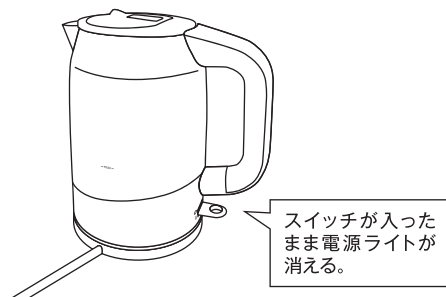
※日本仕様のMaxtraカートリッジの家庭用浄水器としての浄水性能試験については、JIS S 3201にて実施済みです。本ケトルでもJIS S 3201に準じた浄水性能試験を行い、同等の性能を確認しております。

電源ライトの点灯(通電状態)について
ケトルを、沸騰途中でパワーベースから持ち上げると、電源ライトは切れますが、スイッチはオフに戻りません。この場合はパワーベースに戻すと、再び電源ライトが点いて沸騰をし始めます。電源ライトが付いている状態が通電している状態です。電源ライトの点灯で通電状態を判断してください。



空焚き防止機能について

水が入っていない時や、水が少ない状態でお湯を沸かそうとすると、本体の空焚き防止機能が働いて自動的に電源がオフになり、電源ライトが消えます。空焚き防止機能が作動した場合は、安全のためにしばらく通電しなくなります。スイッチは自動でオフに戻らないので手動で戻してください。

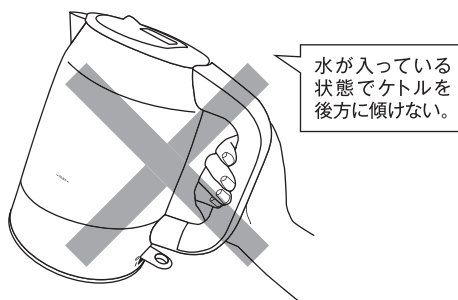


数日間ケトルを使用しなかった場合

数日間ケトルを使用しなかった場合は『はじめてお使いになるその前に』の【BRITA Maxtraカートリッジをセットする】の2.~4.を行ってご使用ください。

ケトルを後方に傾けない

ケトルを後方に傾けないでください。水がコントロール部に入り込み、故障の原因となります。水がコントロール部に入ってしまった場合は、ケトルを風通しの良い場所に1日置いて、ケトル内部を乾かしてください。

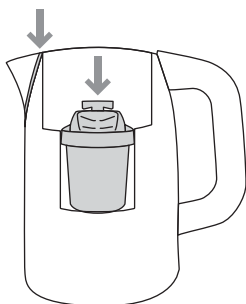


ご使用方法について

ご使用方法

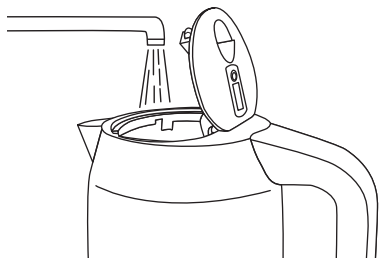
- 1** ケトル本体の中のBRITA Maxtraカートリッジと、注ぎ口部分のメッシュフィルターが装着されていることを確認してください。

! 必ずメッシュフィルターとBRITA Maxtraカートリッジを装着してからご使用ください。オートオフ機能が働きにくくなり、やけどや故障をする恐れがあります。



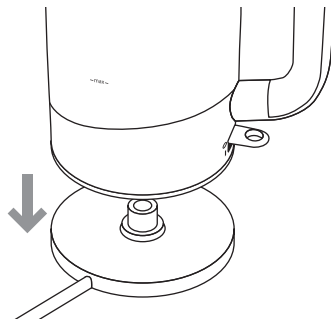
- 2** ふたを開け、水を入れます。BRITA Maxtraカートリッジホルダーには500mlまで入れられます。1Lまで水を入れる場合は2回注水してください。

! ケトルに入れる水の量は500ml以上、1L以下の範囲でご使用ください。

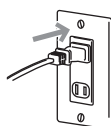


- 3** ふたを閉めます。パワーベースを水平で安定した場所に設置します。本体底のコネクター接続部がしっかりとはまるように、ケトルをセットしてください。

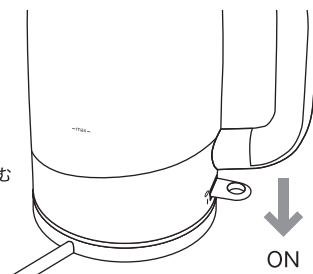
! ふたが確実に閉まっていないとオートオフ機能が働きにくくなります。



- 4** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押し下げます。湯沸し中は電源ライトが点灯します。

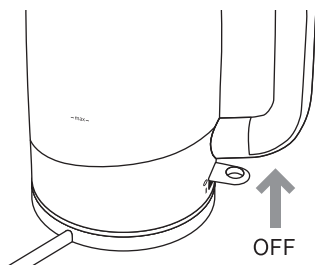


電源プラグを
コンセントに差し込む



5 お湯が沸騰すると、オートオフ機能が作動し、スイッチは自動的にオフになります。水道水1L(満水)入れた場合、約6分～8分で沸騰します。再沸騰させる場合は、再びスイッチを入れてください。

⚠ 沸騰直後は本体が高温になっているため、取っ手以外の部分は触らないでください。



6 ケトル本体をパワーベースから外して、ゆっくりとお湯を注いでください。

⚠ ケトルは傾け過ぎないでください。



7 ご使用後、お湯が残っている場合には本体が十分に冷えてから、残っているお湯を捨ててください。

⚠ 残り湯を捨てる際、高温の蒸気や湯が飛び散る恐れがありますので、ご注意ください。

お手入れの仕方

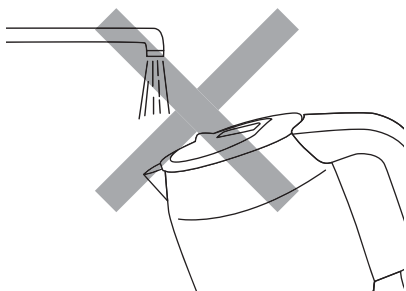
必ず電源プラグを抜き、残り湯を捨てて本体が冷めてからお手入れをしてください。

ケトルの分解

ケトルは分解することができます。ケトル内部に異物が混入した場合には、蓋のフレームを取り外し、BRITA MaxtraカートリッジとBRITA Maxtraカートリッジホルダーを取り出して、分解してください。



! BRITAメモには水がかからないようにしてください。故障の原因となります。



ケトルのクエン酸洗浄

BRITA Maxtraカートリッジをセットせずに使用していると、白いものが浮いたり、ケトル内側の底面が変色してくることがあります。水の成分によるもので、容器自体の変色や腐食ではありません。布で拭き取っても落ちない場合は次の方法でお手入れをしてください。

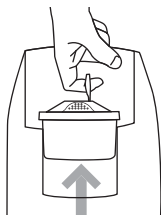
1. Maxtraカートリッジを外した状態で、クエン酸洗浄を行ってください。
2. ケトル本体に満水まで水を入れて、ふたを閉めます。
3. ケトルをパワーベースにセットし、沸騰させます。沸騰すると自動的に電源が切れます。
4. ふたを開けて、クエン酸を大さじ1～2杯入れてください。ふたを開けると、蒸気に触れないようご注意ください。
5. 再びふたを閉め、そのまま約半日放置します。クエン酸洗浄の湯は飲まないでください。
6. 洗浄水を捨てて、ケトル本体の中を水ですすぎ洗いしてください。この際ケトル本体のスイッチ、パワーベース接触部に水をかけたり濡らしたりしないよう、ご注意ください。
7. 白い付着物が残った場合には、柔らかいスポンジで拭き取ってください。

※クエン酸洗浄をしても、きれいに落ちない場合がありますが、そのままご使用いたしても人体に影響はありません。

BRITA MaxtraカートリッジとBRITAメモの交換と廃棄

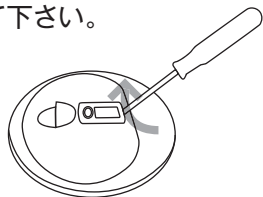
BRITA Maxtraカートリッジの交換と廃棄

BRITA Maxtraカートリッジを取り外す際は、図のようにMaxtraカートリッジ上部のリングプル式ハンドルを垂直に引き上げるとスムーズに取り外せます。取り外したBRITA Maxtraカートリッジのゴミ処理は、プラスチックのゴミとして各自治体の指示に従ってください。



BRITAメモの交換と廃棄

BRITAメモ（液晶インジケーター）の電池が切れたら、交換をしてください。交換方法はBRITAメモの下のかぼみに小さなマイナスドライバーを当て、押し上げて外し、新しいBRITAメモをはめ込んでください。新しいBRITAメモは弊社かBRITAカスタマーセンターにお問い合わせください。外したBRITAメモは各自治体指定の条例と規則に従って廃棄して下さい。



! BRITAメモを交換または廃棄以外の目的で取り外さないでください。

BRITAカスタマーセンターのご案内
BRITA MaxtraカートリッジとBRITAメモ（液晶インジケーター）についての詳細は、BRITAカスタマーセンターまで、お問い合わせください。

BRITA Japan株式会社
BRITAカスタマーセンター

☎03-5766-3618

受付時間 / 9:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

ウェブサイトからの受付は

www.brita.co.jp

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 6-19-20 7F

よくあるご質問

以下のことをお確かめになり、それでも症状が改善しない場合や、疑問点等がありましたら、お買い上げの販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

お湯が沸かない

- ・電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
- ・パワーベースに本体がきちんと差し込まれているか確認してください。

沸騰する前にスイッチが切れる

- ・水量が500ml以上あるか確認してください。

スイッチが切れない

- ・ふたが確実に閉まっているか確認してください。
- ・フィルターが装着されているか確認してください。

沸騰させるとスイッチ部分やパワーベース表面が結露する

- ・沸騰の際にスイッチ周辺から蒸気がわずかに漏れます。それによってスイッチ部分やパワーベース表面が結露する場合があります。

沸騰前に大きな音がする

- ・スイッチを入れてしばらくすると、水が加熱される過程で大きな音が出てきます。

スイッチが切れてしばらくすると『カチッ』と音がする

- ・電源開閉スイッチに使われている形状記憶合金が、形状復帰する為の音で異常ではありません。

BRITAメモのボタンを強く押し続けてもつかない

- ・電池が切れている可能性があります。有償にて販売していますので、弊社かBRITAカスタマーセンターへお問い合わせください。

ろ過した水に黒い粒子が混ざっている

- ・ろ材の活性炭が擦れ合って、微粒子が黒い粒子となって入り込むことがあります。これらの微粒子は食品級の品質のため、健康に悪影響を及ぼすことはありません。活性炭の微粒子が目立つ場合は、黒い粒子が無くなるまで、浄水を数回繰り返してください。

未使用のBRITA Maxtraカートリッジの消費期限について

- ・消費期限はありません。使わないBRITA Maxtraカートリッジは、包装フィルムを破らず、湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

Maxtraカートリッジ交換目安の8週間を過ぎてしまったらどうなりますか？

- ・ すぐにろ過した水の質が落ちてしまうわけではなく、健康に害を及ぼす等ことはありません。JISの試験で定められた除去性能が徐々に落ちていきますので、早めの交換してください。

沸騰はさせずに、ただの浄水器として使いたい

- ・ 沸騰はさせずに、水道水の浄水だけ行っていただく使い方でも結構です。浄水した水は、長時間ケトルの中に入れたままにせず、24時間以内にお使いください。

海外や、ネット等で購入した海外仕様のBRITA Maxtraカートリッジは使えるますか？

- ・ 海外で販売されているBRITA Maxtraカートリッジは日本の水道水用に作られていないため、ろ過性能を十分に発揮できません。海外版のBRITA MaxtraカートリッジはBRITA Japanの保証対象外となります。アフターサービスはご購入いただいた業者等にご依頼ください。またBRITA JapanのアフターサービスであるBRITA Clubのファミリーポイントや、各種キャンペーンも対象外となります。

直接お湯をろ過させることはできますか？

- ・ お湯をろ過させると浄水機能の効果がなくなるので、お湯はろ過させないでください。

井戸水や川の水はろ過できますか？

- ・ 水道水(飲料用)に適した水以外の浄水には使えません。井戸水や川の水はろ過できません。(保健所により「適マーク」のある水はろ過して頂けます)

仕様

電 源	100V 50/60Hz
消 費 電 力	1200W
サ イ ズ	W25.0×D16.5×H24.5cm(ケトル本体)
重 量	1.1kg(ケトル本体)
コードの長さ	1.3m
材 質	ポリプロピレン
生 産 国	中国

アフターサービス

保証について

- ・この取扱説明書の内容をよくお読みになり、大切に保管してください。
- ・この取扱説明書には、保証書がついています。保証書は販売店にて販売店名、お買い上げ日の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- ・保証期間はお買い上げ日から1年間です。無料保証規定の内容により、無料修理、またはお取り替えいたします。(保証期間でも有料修理となる場合がありますので、無料保証規定をよくお読みください。)
- ・保証期間後の修理は、販売店または弊社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

部品のご購入について

本製品は本体以外は消耗品です。付属品や部品、消耗品のご購入については、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。

製品の付属品・部品のお取り寄せは、株式会社大石アンドアソシエイトの公式オンラインショップ「O&A SHOP」でもお買い求めいただけます。

<https://www.oanda-shop.com/>

修理を依頼される場合

- ・故障かな?と思ったらご使用をやめて、無料保証規定並びに保証書の内容をよくお読みいただき、お買い上げの販売店または弊社にご連絡の上、修理をお申し付けください。
- ・修理をお申し付けの際は、商品名と故障の状態を詳しくお知らせください。

⚠ ご自分で分解・修理は絶対しないでください。火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または当社にご相談ください。

弊社修理受付

お取り扱い、お手入れについてのご不明な点や、修理のお問い合わせは、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

株式会社 大石アンドアソシエイト
フリーダイヤル
☎0120-520-227

フリーダイヤルがつかない場合
☎03-5333-4447

受付時間 / 9:30~18:30
(土・日・祝日および弊社休業日を除く)

〒151-0053
東京都渋谷区代々木3-28-6-8F

お客様の個人情報は、弊社製品のご相談への対応や修理などに利用させていただき、ご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

Russell Hobbs 保証書

お客様 お名前		型番	1855 JJP
お客様 電話番号	() —	保証期間	1年 年 月 日
お客様ご住所	〒	ご販売店名・住所・電話番号	

見本

無料保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理またはお取り替えいたします。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店または弊社に、商品と保証書をご提示いただき、お申し付けください。

1. 保証期間内でも以下の場合には有料修理となります。

(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。

(ロ) お買い上げ後の落下や強い衝撃を与えたことによる、故障および損傷。

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災、異常電圧、指定以外の電圧・周波数での使用などによる故障および損傷。

(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合の移動中での故障および損傷。

(ホ) 本書の提示がない場合。

(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句が書き換えられている場合。

(ト) 一般家庭用以外（たとえば業務用等）にご使用の場合の故障及び損傷。

(チ) 消耗部品の交換。

(リ) ご使用によって生じる汚れ。

2. 保証は日本国内においてのみ有効です。

3. 保証書は再発行はいたしませんので、紛失しないように、大切に保管してください。

4. 保証期間は1年間です。保証期間以降の修理をご希望される場合は有料修理となります。また、保証期間以降は、補修部品が生産されていない場合など、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. 部品保有保証期間は、製造停止後5年間です。

6. 本製品は家庭用に設計されておりますので、業務用でのご使用の場合は保証の対象外となります。

This warranty is valid only in Japan.

英国 Russell Hobbs 日本総販売代理店
株式会社 大石アンドアソシエイツ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-28-6-8F TEL03(5333)4447 FAX03(5333)4446